

令和 3年度 事業計画（案） 社会福祉法人 星のくま

理 念	ほのぼのと しあわせになろう のんびりと くじけるな まけるな
基本 方針	【共感・共鳴】 【共輪・共生】 【共和・共同】 【共育・共助】
職員 行動 規範	(1) 人権の擁護・人格の尊重 (2) 社会的ルールの遵守（コンプライアンス）の徹底 (3) 地域との共生 (4) 心身の安全と健康の保持 (5) プライバシー保護 (6) 財産管理 (7) 専門的な支援のため専門性の向上 (8) 業務の透明性の確保 (9) 公共的・公益的取り組みの推進
法 人 運 営 計 画 内 容	<ol style="list-style-type: none"> 1. 社会福祉法人へ移行し3年目となり、地域社会で福祉事業の社会資源として、役割や意義等を十分に理解し活動を推進して行く。 2. 理事会（年3回6月、12月、3月） 評議会（年1回 6月）の開催し、法人の事業（運営）計画、予算の審議決定を行い、法人運営を可視化し、業務の執行状況や会計経理の適性を保持し、監事監査を実施する。 3. 各種会議の開催を行い、利用者サービス向上を図る。 サービス調整会議、サービス担当者会議（個別支援計画作成者等）、合同給食会議、研修会議、広報会議、他 4. 人「財」育成 法人の基本理念、方針、職員行動規範を遵守し、利用者さん本位のサービス提供が出来る組織を整備し、専門性と誠実さのある職員の育成を図ります。又、人事考課制度を新設し、効果的に運用し階層別研修等を図りながら全体的な人財育成を図る。 5. 財務管理 法人事務局長を中心に、決裁の牽制及びスピード化が図れる様なシステムを定着させ、事業部が企画立案する、各種計画等の審査と実行に向けた予算配分を行う。 6. 福祉サービス第三者評価の受講 昨年度、生活介護と短期入所事業の第三者評価を受講し、本年度も放課後等デイサービス事業等の評価を検討していきたい。
重 点 目 標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 各事業所 事故防止と虐待防止に努める（ヒヤリ・ハットの減少） 2. 全職員の支援力アップと企画力、実行力、アイデア力が向上出来る様に研修等の徹底を図る。 3. 就労継続支援B型利用者工賃アップ（本年度の目標額 23,000円以上）を図り、県島原振興局や地域一般企業と共同で「農福連携」による施設外実習に更に取り組む。 4. 生活介護事業、昨年度定員を28名に増床し、障がい特性や年齢等を考慮した支援体制やハード面等の充実を図り、又、作業訓練等を行ない工賃支給の継続を行なう。 5. 放課後等でイーサービス事業が2カ所で、利用児さんの各種障がいや特性を理解し、その人（児）にあった、支援体制が出来る様に研修や連携を行う。 6. 介護福祉士取得への実務者研修を法人内で実施し、介護福祉士資格取得者を増やす。又、社会福祉士（精神保健福祉士）受験のサポートを行う。

新規事業	今年度は予定なし
事業運営計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. 職員間のコミュニケーション能力向上を図り、「ハウ・レン・ソウ」を徹底し、風通しの良い職場作りを行なう。 2. 個別支援計画やサービス担当者会議遅滞なく行ない、計画に沿った支援（実施）を行い、PDCAサイクルで、利用者さんの進歩や成長に繋がる様な個別支援計画とする。 3. 仕事の進め方や効率性、支援者間の連携を図りつつ技量の向上を図り就業時間の厳守を図る。 4. 支援ソフトを導入して、記録等の整備や情報の一元化を図る。 5. 放課後等デイサービス事業の療育支援の強化 6. 短期入所事業においては、サービス内容の充実、向上を図りながら、障がい区分が高い（重度）利用者さんの受入を行う。 7. 共同生活援助事業では、利用者さんが週2日休みとなる事で、サービス提供方法検討と外部ヘルパー事業所と連携し移動支援等を取り入れて、更なる充実を図る。 8. 出張・研修の区別を図り、提出書類の簡素化や旅費等の減額を図る。
設備整備計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. 「隣接地」購入後「ケアステーションあいの」敷地と一体に造成を行なう。 2. 「ケアステーションあいの」特殊入浴設備の改修。
固定資産計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. 「ケアステーションあいの」の隣接地の取得（前年理事会にて承認 延期状態） 2. 「ケアステーションあいの」リハビリ器具購入（リース） 3. 「ワークセンターあいの」厨房器具（冷蔵庫等）の購入（リース）
研修計画内容	<ul style="list-style-type: none"> ・階層別研修（年3回）全職員対象 ・虐待防止研修会を年2回程度 全職員対象 ・全職員会議 年3～4回程度 ・治療教育研究会、和の会（年4回程度、雲仙市福祉団体主催）、学ぼう会（年10回程度、島原市福祉団体主催）（リモート開催が主体） <p>【以下コロナ終息後より】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業所外研修（社協、各種団体主催）に積極的に派遣を行い、支援力向上に努める ・県内外の先駆的な福祉事業所等への事業所見学を積極的に行う。 ・毎日新聞社主催の福岡市内で開催される、文化活動講演会に毎月2名参加を予定。
広報計画内容	<ul style="list-style-type: none"> ・広報誌「ほしのくま」を年4回（季節号）として発刊する。 ・ホームページを随時更新し、事業所活動等をタイムリーに紹介して広く啓発運動を行う。 ・パンフレットの更新

令和3年度 事業計画(案)

事業所名	ワークセンターあいの	実施事業名	就労継続支援 B 型事業
事業方針	<p>・「平均工賃月額」に応じた報酬体系を選択し、引き続き利用者支援における支援力アップと作業効率、生産性の向上を目標に掲げて取り組んでいく。</p> <p>・障害特性の理解を深め、より適切な支援の提供を行う事ができるように、積極的に研修会への参加や事業所内研修会を行う。</p> <p>・各関係機関と連携しながら、生活の質の安定、精神の安定を図り、利用者の方々が安心して活動へ参加できるように努める。</p> <p>・感染症のまん延状況把握を行いながら、個別支援計画の充実と計画に沿った支援を行い、技術や精神面での向上を図り、年間1名以上の一般就労が出来るように支援力強化に努める。</p>		
重点目標	<p><u>短期目標(1年以内)</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・定員を25名から30名に増やす。(現在登録者 31 名を35名へ) ・平均工賃23, 000円を目指す。 ・個別支援計画を支援者へより浸透させる事により、個々の特性を生かし支援技術の向上を図る。 <p><u>長期目標(3年以内) 【R2～R4】</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・作業種目を整理しながら、メイン作業を施設外就労へと移行させる。 ・実習先及び取引企業の開拓を行い、年間を通して作業提供の確保を図る。 		
事業計画	<p>1. 新規利用者の獲得</p> <p>特別支援学校の職場実習や見学を積極的に受け入れる。 相談支援事業所と連携を図り、地域在宅者等の受け入れを行う。 支援者へ自己研鑽、資格取得、研修会参加などを推進し、専門性を高める。</p> <p>2. 提供するサービス内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・菓子箱折り、厨房作業、加工作業(施設外実習含む)、アイロンプレス作業、を提供し、個々の能力、意欲、体力に合わせて支援を充実させ、工賃アップを図る。 ・健康な生活を保つため、必要に応じて通院援助やコミュニケーション等の支援を行う。 ・感染症予防を図りながら、余暇支援、社会資源の利用促進を行う。 ・他事業所等の施設見学を行う。 <p>3. 実費負担</p> <ul style="list-style-type: none"> ①食事代 1食につき150円(特別な食事の提供:実費) ②入浴代 1回100円(希望者のみ)※必要と認められた場合。 ③利用キャンセル料 1回 円(令和3年度より有料化を進める。) ④その他行事参加費等、一定額を超えた場合は実費負担有り。 <p>※実費負担が発生する場合は予めお知らせし同意を得る。</p> <p>4. 加算</p> <ul style="list-style-type: none"> ・初期加算30単位 ・食事提供体制加算30単位 ・福祉専門職配置加算10単位 ・送迎加算27単位 ・欠席時対応加算94単位 ・目標工賃達成指導員配置加算80単位 ・介護職員処遇改善加算(1) <p>5. 事業実施日数 307日</p> <p>6. サービス提供加算 8:30～17:00(営業時間)</p> <p>7. 健康管理計画 (利用者)</p> <ul style="list-style-type: none"> ①利用時(到着時)の検温、血液測定による健康チェックの実施。 ②年1回の血液検査、胸部レントゲン、年1回の内科検診の実施。 		

- ③インフルエンザ等の予防接種を進め、費用の半額は事業所にて負担する。
- ④利用時、体調不良やケガが発生した場合は応急処置を行う。また、状況によっては通院等を行い直ちに家族に連絡を取り対応する。

※協力医療機関：愛野記念病院(総合病院)、天野医院、寺田歯科医院

(職員)

- ①生活習慣病予防検診は男性40歳、女性35歳以上を対象に実施する。
- ②若年者の健康診断は事業所負担にて実施する。

8. 災害避難訓練計画

- ①避難訓練 年2回以上実施(内1回は地震想定 of 訓練)
- ②通報訓練及び消火訓練 年1回以上実施
- ③その他
 - ・台風、積雪による影響が予測される場合の休業については随時早急に対応する。
 - ・送迎中の緊急連絡は、送迎緊急対応マニュアルに沿って対応する。

9. 職員体制

職 種	員 数	常勤換算後の員数
管理者	1名(常勤兼任)	
サービス管理責任者	1名(常勤兼任)	
生活支援員	2名(常勤専任、非常勤兼任)	
職業支援員	7名(常勤専任1名、兼任3名) (非常勤専任3名)	

10.利用者目標及び営業日数【延べ人数、単位(人)は省略】

／月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
原則日数	22	23	22	23	23	22
営業日	26	24	26	27	25	26
目標数	650	600	650	675	625	650
／月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
原則日数	23	22	23	23	20	23
営業日	26	26	25	24	24	27
目標数	650	650	625	600	600	675

年間営業日数 306

年間支給量(原則) 269

年間延べ利用者数 7,650

11. 施設整備及び備品購入計画

- ①作業棟エアコン(じゃが)
- ②業務用冷蔵庫 1台 リース 月20,000円/5年
- ③作業服(ポロシャツ、ブルゾン等)
- ④フロア照明(LED)
- ⑤フロアエアコン
- ⑥厨房増築工事
- ⑦市水工事

令和 3年度 事業計画 (案)

事業所名	アクティビティセンターあいの	実施事業名	放課後等デイサービス事業
事業方針	<ul style="list-style-type: none"> ・ 家庭、学校、関係機関との連携を図り、個々の特性と発達の段階に応じた支援を行う ・ 「子どもの特性」の受容に伴う家族への「寄り添う支援」を行いながら、子どもの発達を共にサポートしていく ・ 発達の特性や思春期の体の変化に応じた支援を実施するための研修会へ積極的に参加し、職員のスキルアップを図り専門性を高める ・ 作業療法士等の専門職の協力により、集団療育と個別療育を明確に行う ・ 自立支援協議会（子ども支援部会）への参加や市内の放課後等デイサービス事業所と連携し、地域で子どもの発達を支援する ・ キッズステーションあいのと連携し、子どもの成長（ライフステージ）に沿った支援を協働して行う ・ 定員10名で実施する 		
重点目標	<p>短期目標：（1年以内）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 保育士、児童指導員等の役割を明確にし、集団及び個別療育のプログラムを実施する ・ 発達障害への理解を深めるための専門的な研修をうけることによりプログラムの多様化と支援の質を高める。 ・ 一人ひとりの子どもをより深く理解するため、日々積極的に家族や学校と関わり、ご家族同席のサービス担当者会議等、支援者は子どもの成長のための助言ができる力を身につける <p>長期目標（3年以内）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 手段的な日常生活動作や様々な社会体験、コミュニケーション力を高めることでより豊かな地域生活が送れるよう、ワークセンターあいのと協働し、それぞれの自立に向けての支援体制を整え提供できる職員を育成する ・ 子どもの発達を理解するための専門的な研修に加え、心のケア、就労、地域生活等の領域にも踏み込んだ研修参加により、職員の質を高める 		
事業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. 経営安定のため利用者の確保に努める <ul style="list-style-type: none"> ・ 学校や相談支援事業所との連携を密にし、実習生の受け入れを積極的に行うと共に独自のプログラムをアピールすることで利用者の確保に努める ・ キッズステーションあいのと協働することにより、子どもの成長（ライフステージ）に沿った支援を家族と共に考えていく ・ 特色のあるプログラムを提供することにより、他事業所との差別化を図る 2. 提供するサービス内容 <ul style="list-style-type: none"> ・ 日常生活訓練…調理、金銭管理、時間の概念、交通機関の利用に関する訓練を行う 暮らしのルールや生活リズムの管理、休日の過ごし方など将来を見据えた支援を行う ・ 個別学習支援…環境調整を行う中で、個々に応じた教材を使用し学習定着への支援を行う ご家族の精神的な負担を軽減する ・ 創作的活動 …手工芸、音楽鑑賞、園芸、パソコンなど得意分野を生かし生活をより豊かにするための支援を行う ・ コミュニケーション支援…専門の講師による学習会。SST など スポーツやゲームをツールとして取り入れ、勝負での感情のコントロールや、自分の思いと異なった時の適切な対応の支援を行う ・ 余暇活動の提供…レクリエーションやその他の活動の計画・事前学習を行い実施し振り返りを行う 		

・地域交流の機会の提供…社会体験や公共交通機関の利用
 ワークセンターあいのの協力による職業体験や美化運動

・家族支援…障害の受容に寄り添い、信頼される関係づくりに努める

3. 実費負担

(食事代) 1食 150円

(入浴代) 1回 100円 (希望され必要と認められた場合)

(送迎費) 重要事項に定めるサービス地域の範囲においては無料

(その他) 選択による個々の活動費は実費負担 (事前にお知らせする)

(キャンセル料) 無料 *但し、急な体調不良等の理由によるもの (令和3年度より有料化を進める)

4. 基本単価及び加算

- ・基本単価 (学校放課後) 591単位 (3h未満)、604単位 (3h以上)
 (学校休業日) 721単位
- ・福祉専門職員配置等加算 15単位
- ・児童指導員等加配加算 123単位
- ・送迎加算 54単位
- ・欠席時対応加算 94単位
- ・福祉・介護職員処遇改善加算

5. 事業実施日数 年間306日

6. サービス提供時間 13:30~17:30 (営業時間8:00~18:00)
 9:00~16:00 *学校休業日

7. 健康管理計画 看護師の協力によるバイタルチェック

8. 災害避難訓練計画 消防計画に基づき実施する

9. 職員体制
- | | | |
|-----------|-------|----|
| 管理者 (兼務) | | 1名 |
| 児童発達管理責任者 | 常勤・兼 | 1名 |
| 保育士 | 常勤・専 | 2名 |
| 児童指導員 | 常勤・専 | 1名 |
| 〃 | 非常勤・専 | 1名 |
| 指導員 | 常勤・兼 | 2名 |

10. 利用者目標及び営業日数【延べ人数、単位 (人) は省略】

【放課後等デイサービス事業】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
営業日	26	24	26	27	25	26
目標日数	260	240	260	270	250	260
	10月	11月	12月	1月	2月	3月
営業日	26	26	25	24	24	27
目標日数	260	260	250	240	240	270

年間営業日数 306名

年間延べ利用者数 3,060名

11. 物品購入等計画

- ・学習や良育のための教材及び書籍等 25万円
- ・社会体験の為の年間常時費 20万円
- ・専門性を高めるための研修費用・教材費用 15万円

令和 3年度 事業計画 (案)

事業所名	ケアステーションあいの	実施事業名	生活介護事業
事業方針	<ul style="list-style-type: none"> ・介護福祉士、看護師、作業療法士等の専門職の配置及び連携により、各々が専門性を発揮し、障がいの特性や個々のニーズに応じたきめ細やかなサービスの提供に努める ・基本的な活動を「自立生活チーム」「作業チーム」「創作チーム」「リハビリチーム」の4班編成とし、それぞれの活動チームの目的を明確にした上でプログラム化することにより、更に質の高いサービスを展開する ・福祉QC活動の推進によりサービスの質を追求するとともに職員の資質向上に努める ・定員28名、人員体制配置1.7：1で実施する 		
重点目標	<p>短期目標：(1年以内)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「自立生活チーム」において、個々成長のためのプログラムを作成し、一人ひとりが自分の生活スタイルを考え、地域で輝いて生活できるよう支援する ・「作業チーム」において、現在の作業内容・実施方法を見直し、作業の定着を図り工賃に繋げる。また、作業実績に応じた工賃を支払えるよう、工賃規定に基づき査定を行う ・「創作チーム」において、リハビリの要素を持ちつつも芸術的観点に立った作品の展示や商品化を目指す ・「リハビリチーム」において、個々の運動プログラムに沿った機能訓練が安全かつ適切に実施できるよう医療チームによる職員への指導・検証を行う <p>長期目標 (3年以内)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・隣地を生活介護の従たる事業所として利用し、作業活動を中心に支援を行う ・特殊浴槽を導入することでより安全な入浴支援の提供と、支援者の介護負担軽減並びに入浴にかかる人員の適正化を図る ・PCソフトの導入によりアセスメント票や個別支援計画等の帳票の見直し、業務日誌・連絡帳等のあり方を検討する ・作業活動において、年間を通してできる作業を確保する ・店舗「星のくまアトリエ」の今後の運営方針について検討を重ねる ・職員の定着及び専門性を高めるための資格取得の推進、並びに各種研修を段階的に取り入れる 		
事業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. 経営安定のため利用者の確保に努める <ul style="list-style-type: none"> ・「自立生活チーム」のプログラムを確立し、支援学校(高等部)や相談支援事業所へアピールすることにより、新規利用者の確保に努める ・短期入所事業の活用により、生活介護事業の利用を推進する ・看護師の配置を手厚くすることで医療に対する加算を算定しつつ、医療的な支援を必要としながらも作業活動を希望する利用者の受入れを生活介護で行う ・作業療法士、理学療法士(委託)、看護師による医療チームにてハビリテーションマネジメントの視点に立ったアセスメント並びに運動プログラムを作成・実施することにより専門性を高め、特化したサービスを提供する ・ワークセンターあいのにおいて、B型就労が難しい方への適正なサービス利用ができるようサービス利用調整を行う 2. 提供するサービス内容 <ul style="list-style-type: none"> ・食事、入浴、排せつ等日常生活上必要な介護支援 ・健康な生活を保つための衛生支援、リハビリ等機能訓練 ・4つの活動チームにより、充実した支援の提供 ・余暇支援、社会資源の利用、コミュニケーション支援 など 3. 実費負担 <p style="margin-left: 20px;">(食事代) 1食 150円</p> 		

- (入浴代) 1回 100円
 - (送迎費) 重要事項に定めるサービス地域の範囲においては無料
 - (その他) 選択による活動費は実費負担 (小グループ活動など)
 - (キャンセル料) 無料 (但、急な体調不良等の理由によるもの)
 - (健診料) 事業所が定める健診については無料
- インフルエンザ予防接種については半額負担とし、接種を奨励する。

4. 加算

- ・人員体制配置加算 (1.7 : 1) 212 単位
- ・福祉専門職員配置加算 15 単位
- ・常勤看護職員等配置加算 57 単位 ※常勤看護師 3 名配置
- ・食事提供加算 30 単位
- ・欠席時対応加算 94 単位
- ・送迎加算 21 単位 (重度+28 単位)
- ・福祉・介護職員処遇改善加算

5. 事業実施日数 年間 307 日

6. サービス提供時間 8 : 00 ~ 17 : 00 (営業時間 8 : 00 ~ 18 : 00)

7. 健康管理計画 内科健診 2 回 / 年

8. 災害避難訓練計画 消防計画に基づき実施する

9. 職員体制
- | | | | | |
|-----------|-------|-----|-------|-----|
| 管理者 (兼務) | | 1 名 | | |
| サービス管理責任者 | 常勤・兼 | 1 名 | | |
| 看護師 | 常勤・専 | 3 名 | 常勤・兼 | 1 名 |
| 生活支援員 | 常勤・専 | 2 名 | 常勤・兼 | 8 名 |
| | 非常勤・専 | 6 名 | 非常勤・兼 | 5 名 |

10. 利用者目標及び営業日数【延べ人数、単位 (人) は省略】

【生活介護事業】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
営業日	26	24	26	27	25	26
目標数	728	672	728	756	700	728
	10月	11月	12月	1月	2月	3月
営業日	26	26	26	24	24	27
目標数	728	728	728	672	672	756

年間営業日 307日

年間延べ利用者数 8,596名

11. 物品購入等計画

- ・リハビリのための PT 委託、器具の購入・レンタル 50 万円
- ・創作活動のために必要な経費 10 万円
- ・作業活動のために必要な経費 (工賃含まず) 15 万円
- ・社会体験及びレクリエーション活動のための経費 10 万円

12. 施設整備等計画

- ・浴室の増改築並びに特殊浴槽の整備 ※理事会にて審議していただく

令和 3年度 事業計画 (案)

事業所名	ケアステーションあいの	実施事業名	短期入所(単独型)事業
事業方針	<ul style="list-style-type: none"> ・短期入所定員（6床）をフルに活用し、短期入所を希望する利用者やご家族の要望に沿えるよう、また緊急時に安心して生活できるよう支援体制を整える ・相談支援事業所や学校等関係機関との連携により、ニーズを把握し調整する ・家族との良好な関係性により、相談しやすい環境づくりと介護負担の軽減を図る ・利用者の特性や必要な支援に合わせた支援体制を整え、安心して快適な生活空間を提供する（直接的な支援はより丁寧な、間接的な支援は効率的に） ・自立した生活のための個別支援を希望する利用者へ、食事の準備や洗濯・寝具の準備など日常生活のスキルを高めるための支援を行う。 ・定員6名で実施する。 		
重点目標	<p>短期目標：（1年以内）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用者の特性や必要な支援に合わせた支援体制の確保や休日の支援のための体制を整える（グループホームとの連携） ・日中の過ごし方については、個々の希望や障がいの程度に配慮して支援を行う。 <p>長期目標（3年以内）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個別給付費(支給量)減額に対応するために登録利用者数を維持する（50名）。 ・利用料（実費負担額）について、社会情勢に合わせた単価の見直しを行う ・雲仙市地域生活支援拠点事業への協力を行う。 		
事業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. 経営安定のため利用者の確保に努める <ul style="list-style-type: none"> ・特別支援学校や相談支援事業所と連携し、遠方の利用者も送迎等を工夫することにより積極的に受け入れる ・支援度が高い利用者に対しては生活支援員の配置時間の工夫や柔軟な支援体制により利用者を確保する ・休日の支援についてはグループホームと連携し、生活支援の配置を効率的に且つ手厚い支援ができる様工夫する ・医療的ケアが必要な利用者については要相談とするが、医療的ケアを伴わない重症心身の利用者の受け入れについては前向きに検討する。また、職員の支援レベルを高めるための研修会等を積極的に行う。 2. 提供するサービス内容 <ul style="list-style-type: none"> ・食事、排せつ、入浴、服薬管理等日常生活に必要な支援 ・自立した生活のために必要な個別の支援（配膳や洗濯・寝具の準備など） ・相談及びコミュニケーション支援 ・安心して過ごすための余暇支援（カラオケなど） 3. 実費負担 <ul style="list-style-type: none"> （食事代） 朝食 100円 昼食 150円 夕食 250円 （入浴代） 無料 <li style="padding-left: 40px;">※介護度が高い方は生活介護の入浴サービス(有料)を利用させていただく （送迎費） 重要事項に定めるサービス地域の範囲においては無料 <li style="padding-left: 40px;">※基本的には日中サービス利用にて送迎サービスを行う 		

(その他) 選択による活動費は実費負担 (内容については事前にお知らせする)
(キャンセル料) 無料

(対象となる加算)

- ・短期利用加算 30 単位 * 1 年間で通算して 30 日間
- ・単独加算 320 単位
- ・食事提供加算 48 単位
- ・栄養士配置加算 12 単位
- ・送迎加算 186 単位
- ・福祉・介護職員処遇改善加算

4. 営業日数 365日

※5/3~6、8/14~16、12/30~1/3 は緊急性の有無など相談による
※宿泊を伴う行事等で職員配置が困難な場合は事前に知らせる

5. サービス提供時間

24時間 (日中活動利用が可能な場合は日中活動を優先する)

6. 健康管理計画

事前のアセスメントにより健康状態を把握する

服薬についてはマニュアルに基づき、看護師協力の下服薬管理を行う

7. 災害避難訓練計画

消防計画に基づく

9. 職員体制

管理者 1名 (兼務)

生活支援員 7:00~21:00 (必要に応じて)

常勤・兼 5名、非常勤・兼 3名

宿直 18:00~7:00 1~2名

11. 利用者目標及び営業日数【延べ人数、単位 (人) は省略】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
営業日	30	31(27)	30	31	31(28)	30
目標数	190	175	190	200	180	190
	10月	11月	12月	1月	2月	3月
営業日	31	30	31(29)	31(28)	28	31
目標数	200	190	185	180	180	200

年間営業日 365(353) 日

年間延べ利用者数 2,260名

12. 物品購入等の計画

- ・清掃、メンテナンス (1回/年) 100,000円
- ・和室畳の表替え (3部屋) 100,000円 *R2年度より持ち越し
- ・寝具の買い替え 100,000円

令和 3年度 事業計画 (案)

事業所名	キッズステーションあいの	実施事業名	放課後等デイサービス事業
事業方針	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭、学校、関係機関との連携を図り、個々の特性と発達の段階に応じた支援を行う ・「子どもの特性」の受容に伴う家族への「寄り添う支援」を行いながら、子どもの発達を共にサポートしていく ・発達の特性に応じた支援を実施するための研修会へ積極的に参加し、職員のスキルアップを図り専門性を高める ・作業療法士等の専門職の協力により、集団療育と個別療育を明確に行う ・自立支援協議会(子ども支援部会)への参加や市内の放課後等デイサービス事業所と連携し、地域で子どもの発達を支援する ・アクティビティセンターあいのと連携し、子どもの成長(ライフステージ)に沿った支援を協働して行う ・定員10名で実施する 		
重点目標	<p>短期目標：(1年以内)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保育士、児童指導員等の役割を明確にし、集団及び個別療育のプログラムを実施する ・発達障害への理解を深めるための専門的な研修を受けることによりプログラムの多様化と支援の質を高める。 ・一人ひとりの子どもをより深く理解するため、日々積極的に家族と関わり、ご家族同席のサービス担当者会議等、支援者は子どもの成長のための助言ができる力を身につける <p>長期目標(3年以内)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・感覚運動や対人関係等が苦手な子どもに対する遊びやソーシャルスキルトレーニングが提供できる職員を育成する ・保育士等の有資格者を確保する ・未就学児への療育(児童発達支援)に対応できる職員を育成する 		
事業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. 経営安定のため利用者の確保に努める <ul style="list-style-type: none"> ・学校や相談支援事業所との連携を密にし、特に新規利用者(新1年生)については成長のための段階的なプログラムを作成する ・作業療法士の協力よりリハビリマネジメントにより、個別療育の質を高める ・アクティビティセンターと協働することにより、子どもの成長(ライフステージ)に沿った支援を家族と共に考えていく ・特色のあるプログラムを提供することにより、他事業所との差別化を図る 2. 提供するサービス内容 <ul style="list-style-type: none"> ・療育的支援…子どもの特性に配慮し、それぞれの発達に応じた支援を行う ・学習支援…家庭学習への動機づけとなる支援を行い、ご家族の精神的な負担を軽減する ・社会体験…長期休みを利用して、様々な社会体験を行うことで見聞を広める ・家族支援…障がいの受容に寄り添い、信頼される関係づくりに努める 		

3. 実費負担

(食事代) 1食 150円

(入浴代) 1回 100円

(送迎費) 重要事項に定めるサービス地域の範囲においては無料

(その他) 選択による個々の活動費は実費負担(事前にお知らせする)

(キャンセル料) 無料 *但、急な体調不良等の理由によるもの

4. 基本単価及び加算

- ・基本単価 (学校放課後) 591単位(3h未満)、604単位(3h以上)
- (学校休業日) 721単位
- ・福祉専門職員配置等加算 15単位
- ・児童指導員等加配加算 123単位
- ・送迎加算 54単位
- ・欠席時対応加算 94単位
- ・福祉・介護職員処遇改善加算

5. 事業実施日数 年間307日

6. サービス提供時間 13:30~17:30 (営業時間8:00~18:00)
9:00~16:00 *学校休業日

7. 健康管理計画 看護師の協力によるバイタルチェック

8. 災害避難訓練計画 消防計画に基づき実施する

9. 職員体制
- | | | | |
|-----------|-------|----|-----------|
| 管理者 (兼務) | | 1名 | |
| 児童発達管理責任者 | 常勤・兼 | 1名 | |
| 保育士 | 常勤・専 | 2名 | *1名は福祉専門職 |
| // | 常勤・兼 | 1名 | |
| // | 非常勤・兼 | 1名 | |
| 児童指導員 | 常勤・専 | 1名 | *児童加配職員 |
| 指導員(送迎) | 非常勤・兼 | 1名 | |

10. 利用者目標及び営業日数【延べ人数、単位(人)は省略】

【放課後等デイサービス事業】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
営業日	26	24	26	27	25	26
目標数	260	240	260	270	250	260
	10月	11月	12月	1月	2月	3月
営業日	26	26	26	24	24	27
目標数	260	260	260	240	240	270

年間営業日数 307日

年間延べ利用者数 3,070名

11. 物品購入等計画

- ・学習や療育のための教材及び書籍等 25万円
- ・社会体験の為の年間行事費 20万円
- ・専門性を高めるための研修費用 10万円
- ・ // 教材費用 5万円

令和3年度 事業計画 (案)

事業所名	星のホームあいの	実施事業名	共同生活援助事業 短期入所事業
事業方針	1. 地域との結びつきを重視し、奉仕活動、自治会活動、各種行事等に積極的に参加し地域貢献に努め、入居者は地域住民として認知され、安全で安心して普通の暮らしが出来る様支援を行う 2. 住民は、バリアフリーで整備し車椅子利用者でも安全で安心して日常生活が過ごせる様な支援を行う 3. 短期入所を定員1名で実施するが今後は廃止を含めて検討して行きたい		
重点目標	短期目標：(1年以内) ・入居者は地域住民として毎週1回の奉仕活動や各種行事に積極的に参加する ・やりたい事、出かけた場所など、希望に沿って休日を有効に過ごせる様に支援する ・個別には移動支援サービスを利用して個人のニーズに合った支援を行う ・毎日が楽しく安心して過ごせるように健康面・衛生面に留意し支援を行う 長期目標(3年以内) ・入居者の特性に合った支援が出来る様に2棟目の建築に取り組む		
事業計画	1. 利用定員 9名 短期入所：1名 短期利用者は月に5名程とし、ケアステーションで週末にオーバーした時に受け入れる程度で今後は廃止を含めて検討して行きたい 2. 入居者が地域の一員であることを認識し、安全で楽しく安定した居宅生活出来る様に職員は業務に推進する 3. 提供するサービス内容 ①日中活動事業所や企業との連携、調整等を必要に応じて行い、安定した生活および充実した日中活動(一般就労を含む)ができるように務める ②入居者の自立に向けて、個別支援計画に沿って日常生活支援を行う。 ③居宅に近い生活が過ごせるように、健康管理、食事提供、日常生活、余暇活動、社会経済活動等の支援を行う ④世話人・支援員の意識向上や支援力向上のため、法人内、外部研修会に参加する 4. 実費負担 ①家賃 25,000円/月 ②食材料費 21,000円/月 ③共同費(水道光熱費) 7,000円/月 ④日用品費 2,000円/月 その他行事参加費は実費負担あり (実費負担が発生する場合は、予めお知らせし同意を得る) 【短期入所】 ・朝食代 100円 ・昼食代 150円 ・夕食代 250円 5. 加算 ①福祉専門職配置等加算(Ⅰ) ②夜間支援等体制加算(Ⅰ・Ⅱ) ③医療連携体制加算(Ⅴ) ④福祉・介護職員処遇改善加算(Ⅰ) 【短期入所】 ①食事提供加算 ②栄養士配置加算(Ⅱ) ③福祉・介護職員処遇改善加算(Ⅰ)		

6. 事業実施日数 365日
7. サービス提供時間 24時間
8. 健康管理計画
- (1) 次の健康管理により、変化や気づきがあれば医療機関への受診等の対応を行う
- ①朝夕の検温、血圧測定による健康チェックの実施
 - ②年1回、市の健康診断受診（総合健診）
 - ③その他入居者の状況により通院を行います。また状況によっては家族へ連絡し連携して対応する
- ※協力医療機関：愛野記念病院（総合病院）、天野医院、寺田歯科医院
- (2) 職員の定期健康診断について
- ・生活習慣病予防検診（男性40歳・女性35歳以上）
 - ・若年者の健康診断は事業所負担にて実施する。
9. 災害避難訓練計画
- (1) 火災については、防火管理者を配置し消防計画書を作成し次の通り対応する。
- ①避難訓練 年3実施（内1回は地震想定での訓練）
 - ②通報訓練及び消火訓練 年1回以上実施
- (2) その他について
- ①大雨・降雪・積雪による警報、台風による影響が予測される場合は情報収集及び関係各所との連絡を密にして安全に配慮する
 - ②送迎中に関する緊急連絡は、送迎緊急対応マニュアルに沿って対応する。
10. 職員体制

職 種	員 数	常勤換算後の員数
管 理 者	1名（常勤兼任）	
サービス管理責任者	1名（常勤兼任）	1人
世 話 人	4名（常勤専任 2名） （常勤兼任 1名） （非常勤兼任 1名）	1.5人
生活支援員	5名（常勤兼任 1名） （非常勤専任 2名） （非常勤兼任 1名）	2人
看 護 師	1名（常勤兼任）	
栄 養 士	1名（非常勤兼任）	

11. 利用者目標及び営業日数

- ・年間営業日： 365日
- ・延べ利用者数：3,285人
- ・平均利用率： 8.5人

12. 施設整備及び備品購入計画

- ・備品購入（洗濯機、ソファ、ベッドほか） 20万円
- ・カーペット清掃代 10万円
- ・クロス張替え 10万円